

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3140933号
(U3140933)

(45) 発行日 平成20年4月17日 (2008. 4. 17)

(24) 登録日 平成20年3月26日 (2008. 3. 26)

(51) Int.Cl.

G 0 7 F 9/02 (2006.01)

F 1

G O 7 F 9/02 1 O 4

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号	実願2008-379 (U2008-379)	(73) 実用新案権者	508030383
(22) 出願日	平成20年1月29日 (2008. 1. 29)		中川 洋子
			奈良県奈良市登美ヶ丘5丁目5番13号
		(73) 実用新案権者	508030394
			近藤 俊巳
			大阪府箕面市外院3丁目11番11号
		(74) 代理人	110000475
			特許業務法人みのり特許事務所
		(72) 考案者	中川 俊雄
			奈良県奈良市登美ヶ丘5丁目5番13号

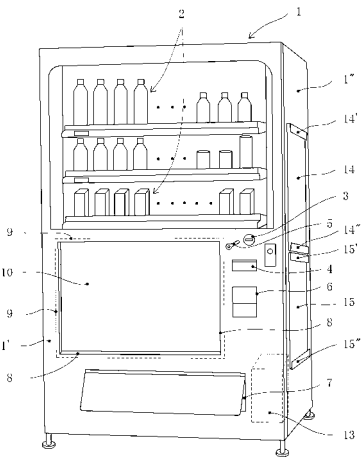
(54) 【考案の名称】 自動販売機

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】自動販売機に、一般の宣伝広告用の広告塔としての機能を付加することにより、自動販売機設置による営業効率の向上をはかれるようにする。

【解決手段】自動販売機の筐体1の前面または側面の一部に、当該自動販売機の販売対象商品とは無関係な一般広告(イベント案内を含む)を表示するための専用広告表示部8、14、15を装備したことを特徴とする自動販売機。

【選択図】図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

自動販売機の筐体の前面または側面の一部に、当該自動販売機の販売対象商品とは無関係な一般広告（イベント案内を含む）を表示するための専用広告表示部を装備したことを特徴とする自動販売機。

【請求項 2】

前記専用広告表示部は、筐体に設けた窓状開口部であって、この開口部の内側に画像を表示する電子パネルを配置し、この電子パネルに当該自動販売機の販売対象商品と無関係な一般広告（イベント案内を含む）の映像を電子的に表示させるための電子制御部を筐体内に設置したことを特徴とする請求項 1 に記載した自動販売機。

10

【請求項 3】

前記専用広告表示部は、自動販売機設置者（管理者を含む）が管理する専用のレンタルスペースとして構成したことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載した自動販売機。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

この考案は、商店街や駅周辺、デパート、コンビニその他街角に設置されている自動販売機に関するもので、特に箱型の自動販売機に汎用広告塔としての装備を付設し、自動販売機で取り扱われる商品やその取り扱い流通業者の宣伝以外の一般広告を専用的に表示する機能を自動販売機に付加したものである。

20

【背景技術】**【0002】**

近年自動販売機は、タバコや飲料・酒類の販売用に留まらず、小型の日用品や文具・雑誌・新聞など広い商品分野に使用されるようになり、またその設置場所も繁華街のみならず住宅地や地方の名所・集会所などにも普及するなど、普及台数が激増しつつある。

【0003】

従来この自動販売機では、その筐体の正面部などに当該自動販売機で販売される商品の宣伝広告を印字表記したり、当該商品や自動販売機のメーカーのブランドを表示することは広く行なわれており、当該取り扱い商品の広告効果を高めるための装置を付加した発明や、当該商品の販売規制（年齢制限・時間制限など）に対応するための発明（特許文献 1・特許文献 2）も提案されている。

30

しかしこの自動販売機に、その取り扱い商品の宣伝広告やその関連業者のブランド以外の一般商品や一般大衆向けのイベント掲示や広告（以下一般広告という）のための専用表示部を設けたものは実用されていない。

【特許文献 1】特開 2007 - 4480

【特許文献 2】特開 2007 - 293484

【考案の開示】**【考案が解決しようとする課題】****【0004】**

本考案者等は、この自動販売機の市井での普及状況・一般大衆との親和性に着目し、自動販売機の筐体自体にTVや新聞・電車内などと同様なレンタル広告塔としての機能を付加することにより自販機設置者ないし管理者が、自動販売機本来の商品の売上げの外に自らの裁量による一般広告による収益をも併せて得られるようにし、自動販売機の実用効率を高めることを目的とする。

40

【課題を解決するための手段】**【0005】**

以上の目的を解決するために本考案は、自動販売機の前面又は側面の一部に、当該自動販売機での販売対象品と全く関係しない一般広告（イベント案内を含む）のための専用の広告表示部を装備したことを特徴とする。

【0006】

50

また本考案では、広告の内容を時期に合わせてまたは随時手軽に切り替えできるように、映像を電子的に表示する液晶やEL、蛍光パネルなどの電子パネルを広告表示部に装備しておき、その映像信号を発信・制御するための電子制御部を筐体内に設置したことも特徴である。

【 0 0 0 7 】

さらに本考案では、前記広告表示部を、自動販売機の販売対象商品とは全く関係のない商品やイベントの宣伝・広告のための専用レンタルスペースとしたので、その広告対象や表示内容は、通常の場合自動販売機のメーカーやその商品のメンテナンス業者の管理管轄外の事項となり、自動販売機の設置者がその販売商品のメーカーなどに気兼ねすることなく自分の裁量で広告業者と契約して、自動販売機の設置効率を高めることができるのも本考案の特徴である。

10

【考案の効果】

【 0 0 0 8 】

本考案は以上のように、自動販売機本体の筐体に、当該自動販売機の取り扱い商品と無関係な一般広告やイベントの専用広告表示部を装備したので、自動販売機の設置者・管理者は当該自動販売機の商品売上以外に、自らの裁量によって広く広告収入を得ることができるなど、結果的に自動販売機の用途拡大に貢献でき、その実用性・産業上の利用性も向上する。

【考案を実施するための最良の形態】

【 0 0 0 9 】

20

以下図面について本考案の実施例を説明する。

図 1 は広く使用されている飲料品の自動販売機に本考案の広告表示部を装備した実施例の斜視図で、1 は自動販売機本体の筐体、2 はこの自動販売機で販売される商品の陳列部で、大小各種のお茶のボトルや缶コーヒ、ジュース類が 3 段に陳列されそれぞれの商品の下部に値段が表示され、陳列棚前面は透明ケースで保護されている。またコイン投入部 3、紙幣投入部 4、つり銭レバー 5、つり銭受取部 6、商品取りだし部 7 も通常の自動販売機と特に変わるものではない。

【 0 0 1 0 】

図において、8 は自動販売機筐体 1 の前面に開口された広告表示部を構成する窓部で、本実施例ではこの窓部 8 の裏側に一般広告専用の液晶パネル 9 が配置される。

30

この液晶パネル 9 は図 2 の断面図に示されるように窓部の裏側において開口 8 に接するように配置され、また開口 8 には透明な保護板 10 が嵌め込まれている。

液晶パネル 9 は、通常の広告表示パネルや TV 画面に使われているものと同様な電子制御式ディスプレイで、保護ケース 11 内に収容されて筐体 1 の内側に固定設置される。この液晶パネルへの広告宣伝用映像信号は、端子部 12 を介して筐体内に設けられた電源ボックス 13 (図 1) から発信・制御される。勿論この電源ボックスは、自動販売機に本来内蔵されている照明用や商品の冷蔵や送り出しのための電源やその制御部を兼用してもよい。

【 0 0 1 1 】

この実施例の専用液晶パネル 9 に表示される広告映像は、前にも述べたように自動販売機の取扱い商品に関係しない商品や団体旅行・不動産・音楽会・展覧会などの一般広告映像であって、自動販売機設置者が広告会社との個別の契約によって任意に採択するものであり、広告会社はその広告媒体を前記電子ディスプレイに適合する電子媒体や適当なソフトで自動販売機設置者に提供することになる。

40

【 0 0 1 2 】

次にこの実施例では、自動販売機筐体 1 の側面 1' にも広告表示部を装備し、さらなる営業効果を期待できるようにしてある。

即ち 14、15 が側面の広告表示部で、上下 2 段に設けた例である。この場合は各表示部には商品に関係しないイベント表示板や案内板などを上下の保持枠 14' 14' 間、および保持枠 15' 15' 間に挟み込んで取り付け前記電子媒体とは別の簡易な宣伝広

50

告物を併せて掲示できるようにした。

広告会社やスポンサーは、この表示部 14、15 の大きさに適合する広告表示板を自動販売機設置者に提供して広告を出すことになる。

この場合広告表示板が保持枠から脱落しないよう適当なロック機構を付設しておくのが望ましい。

【0013】

勿論、この筐体側部には当該自動販売機で発売する商品の広告やブランドを大きく表示し、正面にのみ一般広告専用の表示部を設けてもよく、またこれを逆にしてもよいことは当然である。

【0014】

以上実施例では専用広告表示部として、液晶パネルと広告板を挟持する保持枠を筐体に装備させた例について説明したが、蛍光板や反射板に広告画像を投影するものなど各種の広告画像や宣伝文字を表示できる機能を備えた装置を採用・装備することも当然である。

【0015】

何れの表示装置にいても本考案の専用広告表示部は、自動販売機の取扱い商品に関係しない非競合商品や不動産・イベントなど一般の宣伝・広告専用の表示部として装備することが肝要であり、自動販売機設置者やスポンサーの裁量によってその広告内容を随時または定期的に切り替え可能であることが望ましい。

尚この広告表示部の大きさは大きい方が望ましいが、自動販売機本来の必要機能である発売商品の陳列表示・金銭の授受・商品取りだし機構に支障が生じないようにする必要があるので、場合によっては空きスペースを有効に利用した分割方式の広告表示部としてもよい。

また広告効果を高めるために、広告表示部に内・外部から色彩照明する機構を付設してもよい。

【0016】

又この専用広告表示部に表示する広告・宣伝内容は、当該自動販売機で発売している商品と競合するものでないことが重要であり、競合する広告を表示することは消費者に混乱を与えたり、場合によっては虚偽表示につながる恐れがあるので留意が必要である。

【図面の簡単な説明】

【0017】

【図1】この考案の実施例に係る自動販売機の斜視図である。

【図2】図1の広告表示部の部分断面図である。

【符号の説明】

【0018】

- 1 . 自動販売機の筐体
- 2 . 商品陳列部
- 3 . コイン投入部
- 4 . 紙幣投入部
- 5 . つり銭レバー
- 6 . つり銭受け
- 7 . 商品取りだし部
- 8 . 一般広告専用の広告表示用窓
- 9 . 液晶パネル
- 10 . 透明板
- 11 . 液晶パネル保持フレーム
- 12 . 制御信号の入出力端子
- 13 . 電子制御ボックス
- 14、15 . 側面の専用広告表示部

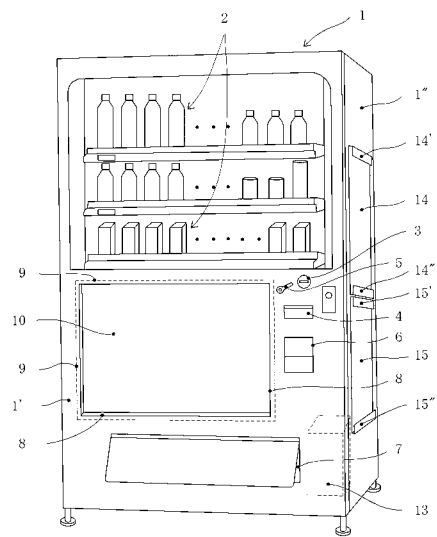
10

20

30

40

【 図 1 】



【 図 2 】

